

# 建築環境の熱的性能とエネルギー使用(ISO/TC163) 国際規格シンポジウム開催のご案内

ISO（国際標準化機構）は、国際的に通用させる規格や標準類を制定するための国際機関です。現在、ISOへの整合化による日本の技術基準(JIS)の改変がなされており、ISOで制定された規格が国内の基準をはじめ建設業界に影響が及んできており、標準化の裾野の広がりが当分続くことは容易に推測できるところです。

また欧州では、欧州指令(EPBD)の制定により建物の省エネ性能に関する欧州規格(CEN)を着々と作り上げております。それらは、近いうちにISO及び世界に影響を与えることが明らかです。

そこで、昨年に続きTC163（建築環境の熱的性能とエネルギー使用）の活動を中心として、欧州規格(CEN)の状況を紹介するとともに、国内の関係者・専門家へISOの審議状況を紹介します。あわせて各方面からISOに対して忌憚ないご意見を伺いたいと思いますので、奮ってご参加ください。

主催 建築・住宅国際機構  
共催 (財)建材試験センター、断熱・保温規格協議会  
協賛 (社)日本建築学会  
日時 平成20年3月7日(金) 13:00～17:25(受付開始12:30)  
会場 虎ノ門パストラル 本館8階 しらかば  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-1

## シンポジウム講演内容

1. 開会の辞 赤坂 裕（鹿児島工業高等専門学校） 13:00～13:10
2. TC163を取り巻く状況について 13:10～14:00（50分）  
司会 宇田川光弘（工学院大学）  
(1) 欧州のEPBDによる省エネ対策とCENとの関係 伊香賀俊治（慶応大学）  
(2) ISOとCEN及びEPBDの関係(TC163を中心として) 銚井修一（京都大学）
3. 欧州規格(CEN)及び審議中のTC163国際規格案について（その1） 14:00～15:10（70分）  
司会 赤坂 裕（鹿児島工業専門学校）  
(1) ISO13790を中心とするEPBDに関するCENの規格群について 赤坂 裕（鹿児島高専）  
(2) エネルギー性能の表示方法(EN15217)について 澤地孝男（国土技術政策総合研究所）  
(3) 計算値と実態値によるエネルギー性能評価(prEN15603) 秋元孝之（芝浦工業大学）  
(4) 換気(EN15241、EN15242)について 倉淵 隆（東京理科大学）
4. 欧州規格(CEN)及び審議中のTC163国際規格案について（その2） 15:20～17:15（115分）  
司会 松本 真一（秋田県立大学）  
(1) 暖房+空調(EN15243他)について 永田明寛（首都大学東京）  
(2) 照明、昼光利用(EN15193)について 上谷芳昭（京都大学）  
(3) 断熱材及び断熱部位の熱的評価方法に関する最近の動向 黒木勝一（建材試験センター）  
(4) 現場における建築部位の断熱性能の測定方法 萩原伸治（建材試験センター）  
(赤外線カメラによる熱画像法)  
(5) 断熱製品の規格について 田中辰明（お茶の水女子大学）
5. 閉会の辞 吉野 博（東北大学） 17:15～17:25

定員 100名（定員に達し次第締切ります）

参加費 1,000円（資料代含みます）

申込方法 氏名、勤務先、所属、住所、電話番号、E-mailアドレスを記入の上、「TC163シンポジウム申込」と題して、下記のE-mailアドレスまでお申し込みください。

申込先及び問合せ先 建築・住宅国際機構

E-mail: main@iibh.org

〒105-0001 東京都虎ノ門5-1-4 東都ビル3階

Tel: 03-3437-6481、Fax: 03-3437-6482